

# 令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【徳力小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「読むこと」 算数「数と計算」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個別最適な指導の充実が足りない。反復・振り返り学習の時間が十分に確保できていない。	⇒ 学びの振り返りの時間を生かし、次時の課題を設定する授業展開にする。【毎時間】 書き込み式ドリルやドリルパーク、テストパークの活用や、学習スペースの活用を通して、一人ひとりの課題に合った個別最適な学習に繰り返し取り組ませる。家庭学習にも取り入れる。【週に1度】 1人1台端末を活用し、児童主体の学びを行う。また、その授業の仕方を教職員で共有する。【1月に1度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「読むこと」 算数「数と計算」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個別最適な指導の充実が足りない。児童主体の学習展開の機会が十分に確保できていない。	⇒ 話を確かに聞くことや表現することを指導の主眼に置く。また、評価の観点を示すことで児童主体の振り返りを充実する。【毎時間】 ICTを効果的に活用した授業で、児童の「わかった・できた・楽しい」を引き出し、魅力ある導入や必要感のある課題設定、解決の見通しをもち自力解決する場を設定するなど、ICTを活用した振り返りを行い、学びの記録を蓄積する。【毎時間】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)